	No.12 1990. 8	発行：ECO News 筑波大学学術情報処理センター
---	------------------	-------------------------------

暑中お見舞い申し上げます。

お元気ですか。いかがお過ごしでしょうか。「暑い、暑い」といってるうちに、夏が終わってしまう。...なんてことがないように、今月も《元気がでる》ECO Newsをお届けします。

暑い暑い夏だから、HOTな話題から。まずは気になる「教育用標準仕様コンピュータ」。

緊急報告 『CEC*1教育用標準仕様コンピュータはどうか。』

先日おこなわれたCECシンポジウムで、「学校で利用されるコンピュータシステム」の概要説明がおこなわれました。実際は、その仕様のコンピュータは存在せず、「CEC仕様'90」という仕様だけが発表されました。今回の仕様には、「技術開発の速度が早く、またその方向性が多様なことを考慮し、特に特定のOS*2とそのシステムインタフェースを規定しない。」ということがはっきり示されています。つまり、以前CEC仕様で話題となった教育用としての「トロン」は消えていったと言ってよいでしょう。8月1日のAsahiパソコンという雑誌では、仕様に関する見解の中で「94年までの5年間に約40万台が導入される予定の教育用パソコンでは、MS-DOSが事実上の標準OSとしてきわめて有利な立場を占めることになりそうだ。」と述べています。

CEC仕様は、(1)教育用として必要な機能を有していること(2)互換性に配慮していること(3)継承性に配慮していることを柱に、教育界でよく使われているソフトウェア作成言語として、BASIC、Logo言語、およびオーサリングシステムで作成される教材データ形式について述べています。結局、ハードによる統一ではなく、互換性、継承性を重要視したソフトによる統一をはかろうとしているようです。

シンポジウムの中で会場からだされた、「何年ごろCEC仕様(コンピュータ)が市場にでるか。」という質問に対し、CECは、「(CEC仕様コンピュータをいつ市場に出すかどうかは)メーカー側に依存しており、メーカーの営業にCECは強制力をもてない。教育界(ユーザ)からの要望をだすことが、早く市場にだすことにつながる。」という回答をしています。シンポジウムを終えて会場から出てきた人の一言。「結局、CEC仕様ってコンピュータじゃなくて、報告書のこと

だったんだな。」『CEC仕様'90 一概要編一』は、市町村の教育委員会に配布され、希望者は、直接CECに申し込めばいただけるそうです。

紙のCEC仕様ではありますが、この仕様はとてもよく検討されていて、こういう仕様の教育用コンピュータがあったら、ぜひ使ってみたいし、教育関係の方にもおすすめしたい、と、私は思いました。まだまだ改善することはあるのですが、ほんとうに、よく考えたんだなあと思いました。(あたりまえのことじゃないかという声もでそうですが、あたりまえのことをよく考えるってとても難しいと思いませんか?) 早く、CEC仕様のコンピュータを学校で使いたいですね。

(HOSO)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ 【For the Children ECONews】 ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
夏休み。学校をはなれて、ホッと一息。なあんでいっても、やっぱり、子どもたちの顔が浮かんできたりします。

「教育」についてあらためて考えてみるというと、ちょっと照れるけど、いろんな先生のお話をきいてみたいので、このコーナーを作りました。子どもたちのために。

◇加藤先生のお話 【生徒が教えてくれる】◇

私の勤務している学校は農業高校ですが、生徒の家で農業を営んでいるのは、兼業農家を合めても35%たらずです。また、入学してくる生徒は、たとえば分数計算ができないなど、基礎的な学力が身に付いていません。これは、将来の進路に関係なく、成績のふるわない生徒が農業高校を受験せざるをえない状況があるからです。入学後の調査では、本当に入学したかった学校は他にある、と答えた生徒が75%を占めています。

こうした生徒たちと接しているうちに、私は次のようなことを確信するようになりました。それは、a)どんな事にも本質的なこととそれほど本質的でないことがあって、本質的なことというのは誰でもわかりうることである、b)生徒は物事を理解したがっている、c)本質的なことをわかりやすく伝えることが教育である、ということです。

生徒はほんとうに大切なことだけを知りたがっています。生徒が受け入れてくれないとき、それは、本質的でないことを伝えようとしているか、あるいは本質的なことであっても、わかりやすさに欠けているかのどちらかであると思うのです。

「ほんとうに本質的なことを、ほんとうにわかりやすく生徒に伝えているか」、それは、生徒が答えてくれています。

栃木県立小山園芸高等学校 加藤栄光

前号でほんの少しご紹介した情報基礎コースがほぼできあがりました。

「まだまだ直さなければ使えない。」という意見もありますが、内留生の連日連夜の『がんばり』に大きな拍手を贈りたい。(ECONewsより愛をこめて)

以下は、作成にあられた先生方の「情報基礎コースを作って」の感想です。

▷一応できたんですが、良いものにするには、まだまだ時間がかかります。良いコースにしようと思うと、きりが無い程、手を加えたいことがたくさんあります。コース作りは奥が深いと思いました。(丸山)

▷早く完成させたい。カルクとCAIコースの行き来ができるという試みができました。(大隣)

▷ソートの部分を担当しました。情報の処理の考え方がいくらかでも伝わるように作成しました。中学生には難しくなりすぎたようです。(竹原)

▷初めてコース作りに参加してコンピュータはすばらしいことができるんだなと感激しました。内留にきて初めてCAIをみたのですが、なんだか夢中になりそうです。(稲垣)

▷生徒に作成者の意図が正確に伝わるような画面づくりができるようになりたい。(堀内)

▷画面一つひとつの意味を考え、COOK BOOK 的なコースにならないよう目指しました。でも、なかなか満足いくものができなく苦労しました。(松村)

一口メモ

C E C *1 (Center for Educational Computing: 働コンピュータ教育開発センター)

「セック」。教育におけるコンピュータの利用促進のために『研究開発事業』『普及啓発事業』をおこなっている財団。文部・通産両省の共管による財団として、C E C の発表を注意深くチェックしている方も少なくはないはず。C E C 教育用標準仕様の研究開発のほかにソフトウェアライブラリの運営や啓発用ビデオの作成などもおこなっている。

O S *2 (オーエス、Operating System) 『わかっているようでわからないパソコン用語辞典』よりキーボードやディスプレイ、プリンタやディスクなどコンピュータのハードウェアを制御する働きをする基本的なプログラム。コンピュータを動かすための必要最低限のプログラムといえる。

日本語では「基本ソフト」と言われている。

16ビットパソコンの主流基本ソフト(OS)は、MS-DOS。パソコンの市販ソフトを動かすときに必要である。

【ECOニュースの仲間たち】

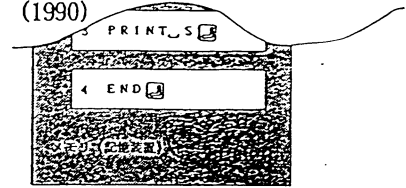
♡余田義彦 『チュートリアル様式の解説』 (1990) NEW 9月号 学研

♡栃木県小山園芸高等学校 『風声 本校のパソコン教育』 (1990)

『風声 本校のパソコン教育』は、【For the Children
ECONews】で投稿していただいた加藤栄光先生が、
中心となってお書きになったテキストです。

試行錯誤を繰り返しながら、やっと出来上がったものとお聞きしました。とても「やさしく」書かれています。(⇒)機会があったらぜひみてください。

また、先生自作のテキストなどがありましたら、ぜひECOニュースまでお知らせください。



このように、メモリの中に命令を並べて書いておきます。
この一連の命令群——仕事の手順書とプログラムといえます。

おもひ会プログラム

```

9:00 開会式
9:30 100m走
10:00 50m走
.....
15:00 閉会式
    
```



コンピュータプログラム

```

1 INPUT A
2 LET S=A+A
3 PRINT S
4 END
    
```

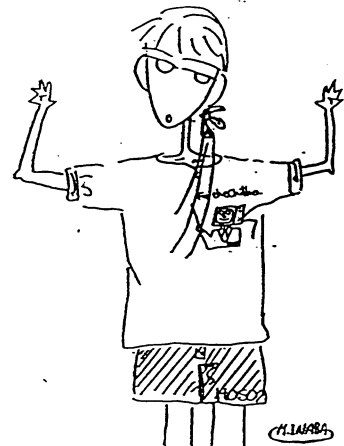


♪♪♪♪♪ Editor's Note ♪♪♪♪♪

今月のECONews、いかがでしたか？ 今月はCAIの夏の研修が始まり、人手が足りなくいつもの月よりおそい発送となってしまいました。おそいなあとポストをのぞいてくださった（と私は思いたい）読者のみなさん、ごめんなさい。ところで！！今年の夏は、な・ん・と ECONews Tシャツを作っていました。（右絵⇒）CAIの夏の研修スタッフが各地で着ます。

☆ ☆ ☆

先月、筑波短大で学生の企画・運営による七夕祭りがありました。教員も招待されましたが、当初企画されていたカラオケ大会がおこなわれませんでした。学生はカラオケが嫌いなわけではありません。「先生たちの前では歌いたくない。」のだそうです。創立されたばかりの短大で、まだ、雰囲気がかためていないのかもしれませんが、大学の先生のイメージか、これまでの先生のイメージが「先生たちの前では...」という言葉が学生にいわせたのかもしれませんが。七夕祭りの最後に実行委員が「秋にはハロウィンもやりたいな。」と言っていました。そのときにはカラオケがおこなわれるかもしれません。



「先生」ってなんなんだろうなって、ちょっぴり考えさせられました。 (HOSO)

ECONews 連絡先

〒305 つくば市天王台1-1-1 筑波大学学術情報処理センター4F ECONews係
TEL 0298-53-2454